

平成30年度1学期終業式・校長式辞

皆さんおはようございます。

まず初めに、このたび西日本で発生した豪雨災害では、200名を超える多くの尊いのちや財産が、一瞬にして奪われる甚大な被害を受けました。予想を超えた豪雨、川の氾濫とはいえ、改めて自然災害の恐ろしさと、命の尊さを感じたところです。亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災地域の1日も早い復旧と復興をお祈りしたいと思います。

さて、今日は、1学期の終業式を迎えました。終業式という節目にあたり、この1学期を振り返ってみてください。学習のことや部活動をはじめ、様々な活動を振り返り、自分の目標のためにチャレンジできたでしょうか。

うまくいったこと、嬉しかったこと、頑張ったなというところは、素直に自分を褒め、自信にして、更なる高みを目指してください。それから、思い通りにならなかったこと、悔しかったことなどもあったかと思います。反省すべきところは、早速この夏休みから、また、2学期以降に改善できるように、努力をしてもらいたいと思います。

私も、この1学期、皆さんが活躍する運動部・文化部の各種大会や発表会に、都合がつく限り駆けつけて、応援したり、発表を見たり聞いたりして、多くの感動をいただきました。先週は、野球部の応援と吹奏楽部の村山地区のコンクールがありました。吹奏楽部の皆さんは、先日の壮行式で演奏した時よりも一層完成度が増して、素晴らしい演奏になったと思います。今月末の県大会でも、さらに磨きをかけて、皆さんにとって最高の演奏になることを期待します。(※28日の県大会では、見事金賞を受賞しました。おめでとう。)

そして、野球部の諸君、勝利まであと一歩でした。本当に悔しかったと思います。山形南高校を相手に、9回表まで4-2でリードしていましたが、最後の最後での惜敗でした。勝負ですのでこれは仕方ありません。それでも、好プレーを重ねて、終始、明新館のペースで試合を進めた皆さんの勇姿には、とても感動しましたし、誇らしく思いました。現地で一緒に応援に参加した皆さんも同じ気持ちだったと思います。

試合前に、こんなことがありました。今年3月に卒業したOBが私に挨拶にきてくれた時の、何気ない会話でのことです。「例年だと野球部員がスタンドで全体応援をリードくれるのだが、今年は、部員が少なく全員がベンチ入りなのでそれもできない。OBのみんなも協力してくれよ」とお願いしたのです。

すると、後輩の試合を別々に見に来ていたOBの皆さん方が、ひとり・ふたりと移動ってきて、学校応援のとなりに席を陣取り、太鼓の伴奏まで引き受けてくれたのです。そして、試合が始まったら、本校の応援の皆さんと一緒に熱く応援をしてくださいました。先輩が後輩を思う気持ち、母校を思う気持ちは素晴らしいと改めて思いました。

帰路のバスで、ふと、7月上旬に福島県で行われたPTAの東北大会で、ある保護者が

挨拶で話した「頼まれごとは、試されごと」という言葉を思い出しました。中村文明さんという作家の講演で聞いた言葉で、その方はこれを座右の銘にしているとのこと。そして、PTAの役員を依頼された時には、この言葉を思い出して引き受けてきたとのことでした。

頼みごとをしてくる人は、大抵困って頼みごとをしてくる。それに対して相手の気持ちになって、真摯に対応すれば、自分自身をプラスに変え、チャンスが広がるというのです。

例えば、皆さんが将来就職して、会社の上司にコーヒーを買ってきてと、頼まれたとします。こんな時、皆さんはどんな対応をしますか。

○A君は、心の中では面倒くさいなと思いながら、携帯をいじりダラダラと歩いてコーヒーを買ってきました。

○B君は、「ハイ」と二つ返事で頼まれたことに笑顔で答え、全速力で走って、息を切らしてコーヒーを買ってきました。

さて、皆さんは、どちらの方がよい印象に思いますか。

頼んだ上司は、当然、A君に対して「ありがとう」と言って受け取るだろうと思います。一方、B君が息を切らしながら帰ってきたなら、「そんなに走ってまで買ってきてくれたのか。これで汗を拭いて・・・」と感謝の言葉をかけ、ハンカチを渡してくれるかもそれません。ハンカチはないにしても、B君に仕事を任せれば、間違いないという気持ちにさせるというのです。これが「頼まれごとは、試されごと」なのです。

上司が自分に目をかけてくれている、あてにしてくれていると前向きに捉えて、どれだけ相手の気持ちになって対応するか。実際は全てのことに対応することは不可能ですが、常にこの心掛けを持って人と接すれば、人から愛され、信頼され、仕事を任される存在になるということです。

野球部OBが、私との何気ない会話の中で私の気持ちを察して、別々に応援に来ていたOBに呼びかけ、他のOBもそれに応えて、例年どおりの野球応援の形をつくってくれました。その光景を思い出すたびに、本校を巣立った彼らは、卒業後も人から愛され、信頼され、将来にわたって様々なチャンスに恵まれるだろうと思っているところです。

さて、明日から夏休みです。丁度30日間あります。皆さんは、この30日間をどう過ごしますか。先日、壮行式を行いました。全国大会・東北大会をはじめ各種大会に出場する人はベストを尽くしてもらいたいと思います。

また、夏休みは蓄える期間でもあります。夏季講習があったり、部活動があったりと、多くを学校で過ごす人もいるでしょう。特に3年生は自分の進路希望達成のための大事な時期になります。卒業後の次のステージを見据えてしっかり力を貯えてください。そして、夏休み明けには、本校最大の学校行事である「麗明祭」があります。実行委員会・生徒会・クラスなど、それぞれの立場で「麗明祭」の成功に向けて準備をお願いします。

例年のない暑い夏です。くれぐれも健康や安全に留意して、皆さん一人ひとりにとって充実した夏休みとなることを期待して、終業式の式辞とします。